



## 《将来に向けた取組方針》

- ・当社は、日本経済団体連合会の一員として、「経団連生物多様性宣言・行動指針」に基づいて行動します。
- ・当社は、事業活動が自然の恵みに大きく依存しており生物多様性が持続可能な社会にとって重要な基盤であるという認識のもと、自らの事業活動等と生物多様性との関係を把握し、自然共生社会の構築に向けて地域特性に応じた取り組みを続けていきます。
- ・また、国際社会の一員として、自然共生社会構築への取り組みが気候変動対策や循環型社会構築への対応等と密接に関連するグローバルな課題でもあることを認識し、それらを事業活動に取り込んだ環境統合型経営を行うことを通じて持続可能な社会の実現を目指します。

## 日本製鉄の生物多様性保全への取り組み

### 郷土の森づくり



#### ・当社九州製鉄所（大分）の例

1970年に当社が宮脇昭氏（横浜国立大学名誉教授）のご指導の下、全国に先駆けて開始した、生態学的手法に基づいた地域本来の自然植生の再現活動。2019年時点で、全国約830Ha規模（東京ドーム180個分）。

### 海の森づくり



#### ・北海道 増毛町での実施例

2004年から当社が実証実験を始めた副産物（鉄鋼スラグ）利用による沿岸域の藻場再生事業。2019年時点で全国38か所に展開し、近年はブルーカーボン（海洋植生によるCO<sub>2</sub>固定化）の効果も注目されている。

### 地域プロジェクトへの参画



#### ・アニマルパスウェイの整備例

当社名古屋製鉄所は2012年より地域活動「命をつなぐPROJECT」に参画し、隣接企業との間のアニマルパスウェイ整備や緑地見学会等を実施。2019年に「環境賞審査委員会特別賞」を受賞。

## 《学んだこと・成果等》

当社がこれまでに進めてきた「郷土の森づくり」「海の森づくり」「地域プロジェクトへの参画」などの生物多様性保全の活動が、循環型社会構築や気候変動対策を含めた環境統合型経営の推進に繋がっており、当社経営資源が様々な場面で持続可能な社会構築に貢献していることを確認した。

## 《社会に向けたメッセージ》

（キャッチフレーズ）

「鉄は、人と地球とともに」

鉄は、  
人と地球  
とともに

## 《今後の課題等》自然共生社会構築に向けた取り組みと事業活動の更なる深化。

- ①地域社会と一体となった生物多様性保全活動の拡大。
- ②海の森づくり活動の拡大、ブルーカーボンへの展開に向けた効果検証技術の確立。